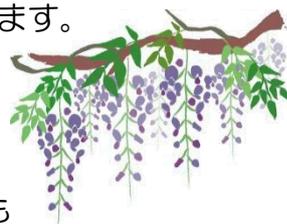


# ぐんぐん↑↑

若葉の鮮やかな季節、ますますご盛栄のことと思います。普段より本校の教育活動に対してご協力ご理解をいただき、ありがとうございます。5月の「ノーテレビノーゲームノースマホデー」の取り組みについて、詳細は下記にてお伝えしますが、「家族ぐるみでがんばったよ。」「ちょっとスマホし過ぎたから次はがんばります。」といった嬉しい声が子ども達や保護者のみなさんのコメントから見られました。次回は6月1日（水）、よろしくお願ひいたします。

まもなく梅雨をむかえます。この時期は大人も子どもも体調不良になりやすい時期です。そんな中でも子ども達は毎日の授業の中で、頭を働かせ、体を動かし、いろいろなことを学んでいます。学習を進め学力を付けていくには、まずは心身ともに健康であることが大切であると考えます。今後も普段からお願いしています新型コロナ対策（マスク、検温、手洗い…）をしっかりとするのはもちろん、熱中症や睡眠不足、動画視聴やゲームのやり過ぎによる虚脱感など出ないように、子ども達の健康管理にくれぐれもご注意いただければと思います。よろしくお願ひいたします。



## ◇◇5月のノーテレビゲームスマホデーの結果です！◇◇

達成率	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
① ノーテレビ	90%	76%	91%	91%	95%	79%	86%
② ノーゲーム	97%	87%	97%	91%	92%	91%	92%
③ ノースマホ	93%	89%	97%	94%	90%	79%	90%
④ 学習平均	32分	26分	37分	34分	41分	66分	39分
⑤ 読書平均	16分	16分	22分	21分	28分	22分	21分
ぼかぼか読書	93%	87%	100%	100%	97%	88%	94%
⑥ 家の仕事	90%	91%	100%	89%	85%	97%	92%
⑦ 筆箱チェック	100%	91%	100%	97%	100%	97%	97%



冒頭でもお伝えしましたが、5月のノーテレビノーゲームノースマホデーへのご協力ありがとうございました。5月の結果は上記のようになりました。全校としては9割程度の子ども達がどの項目も達成していると分かりました。強いてあげるとすれば、「①ノーテレビ」、「③ノースマホ」への取り組みをより意識できるといいなと思います。また、④学習時間と⑤読書時間では、学年に応じた適度な量を目指し、家庭学習と読書をさらに充実したものにしてほしいと思います。

今回の結果は、月に一度の取り組みのもので、大まかな傾向と言えます。ただ、これらのことを普段から意識しながら自分自身の学習や生活を見直し、家庭での過ごし方をより良いものにするきっかけになってくれればと願ひます。ぜひ、ご家庭でも話されてみてください。

## ◇◇諸富北小「学びが身につく10のカギ」◇◇

本校では、落ちていて学習にのぞめるように、1年生のうちから身に付けておいてほしいこと、そして、6年生になっても大事なことであることを「学びが身につく10のカギ」としてまと

めて示しています。この10点は、学習にすっと入るため、よい学習をするため、学習内容をしっかりと定着させるために必要なことです。これを機会に、子ども達ができているか、一緒に確かめてみていただければと思います。②や④や⑥は、意外と苦手としている子どもも多いです。

**諸富北小 学びが身に付く 10の力**  
諸富北小学校

- ① チャイムのなる前に席につく。
- ② 正しい姿勢でイスに座る。
- ③ 始めと終わりのあいさつをする。
- ④ 呼ばれたら「はい！」と返事をする。
- ⑤ 正しい言葉づかいをする。
- ⑥ 場に合う声の大きさで表す。
- ⑦ 「話す」、「聞く」をがんばる。
- ⑧ えんぴつを正しく持つ。
- ⑨ 字をていねいに書く。
- ⑩ 次の準備をして、休み時間。

**立腰 (りつよう)**

- ①チャイムのなる前に席につく。
- ②正しい姿勢でイスに座る。
- ③始めと終わりのあいさつをする。
- ④呼ばれたら「はい！」と返事をする。
- ⑤正しい言葉づかいをする。
- ⑥場に合う声の大きさで表す。
- ⑦「話す」、「聞く」をがんばる。
- ⑧えんぴつを正しく持つ。
- ⑨字をていねいに書く。
- ⑩次の準備をして、休み時間。

→合言葉は、「かつお3」  
(かたづけ、つぎの準備、お茶トイレ休憩、3分前行動)

→各教室や1年生の廊下、児童玄関にも掲示していて、いつも目につくようにしています。

◇◇諸富北小の「立腰 (りつよう)」◇◇

諸富北小学校では、学習に向かうための「構え」を作るために、昨年度から「立腰」に取り組んでいます。元々、本校でも正しい姿勢でイスに座る、始めと終わりのあいさつをすることは続けていましたので、切り替えはスムーズにできていると思います。

そもそも立腰とは、あいさつ時のかけ声で自分の腰骨を立てることを言います。これをするにより、活動に対して「自分でやろうとする力 (意欲)」、「一生懸命にする力 (集中力)」、「粘り強く続ける力 (持続力)」、「切り替えて取り組む力 (実践力)」を育てることが期待できます。福岡県の「仁愛保育園」という園で取り組まれていることが、その意味と効果から佐賀県内でも多くで実践されています。体の構えを立腰で整えることで、心の中もシャキットすることができ、学習への姿勢がよくなっていきます。

**あたま**

あたまがはつきりして一つのことを熱心にやる事ができる

かみが、じぶん考えて自分で決める力がくる

やる気が出てくる

**からだ**

食欲が出て、からだがいよくなる

内臓がよく働く

すぐれた行動がはやくとれる

**こころ**

自分から物事にとりくめる

集中力がつき、同じことをしていられる

ねばり強くたえられる

**りつよう 「立腰」の姿勢**  
2021.11

- ①足のうらをそろえて、ゆかにつける
- ②おしりを後ろにひき、腰骨をぐっと前に出す。
- ③むねをはり、かたの力をぬく。手はもみに。
- ④おなかに力を入れ、あごを引く。
- ⑤軽く目をして、そのままの姿勢。→合図を待ちます。